

平成29年6月30日
 四国電力株式会社

伊方発電所3号機 非常用ディーゼル発電機空気冷却器の清掃について

通常運転中の伊方発電所3号機（加圧水型、定格電気出力89万キロワット）の非常用ディーゼル発電機3Aおよび3Bの毎月実施している確認運転において、空気冷却器出口の空気温度が徐々に上昇していることを確認したため、念のため空気冷却器の細管清掃作業を実施することとしました。

空気冷却器の冷却には海水を使用しており、この温度上昇は、海生生物の付着等による空気冷却器細管の伝熱効率の低下によるものと考えられます。

非常用ディーゼル発電機の運転に問題はありませんが、今後の夏場における気温上昇などで更に空気冷却器出口の温度が上昇することも考慮し、念のため空気冷却器の細管に付着した海生生物等を取り除くための清掃を実施するものです。

なお、本作業期間中は、運転可能な非常用ディーゼル発電機が1台となるため、保安規定に基づき、1日に1回非常用ディーゼル発電機を起動し、健全性を確認します。

：保安規定では、安全機能を確保するために必要な機器の台数等を「運転上の制限」として定めており、非常用ディーゼル発電機は、プラント通常運転中に2台が運転できることを求めている。これが満足できない場合、同規定では10日以内に解消すること、および、残りの非常用ディーゼル発電機を1日に1回起動し、健全性を確認すること等を求めている。

（清掃作業計画）

3A：7月 3日～7月 5日（予定）

3B：7月10日～7月12日（予定）

伊方発電所3号機 非常用ディーゼル発電機 空気系統概略図

